

生活習慣病の発症・進展に関する研究ツールに!!

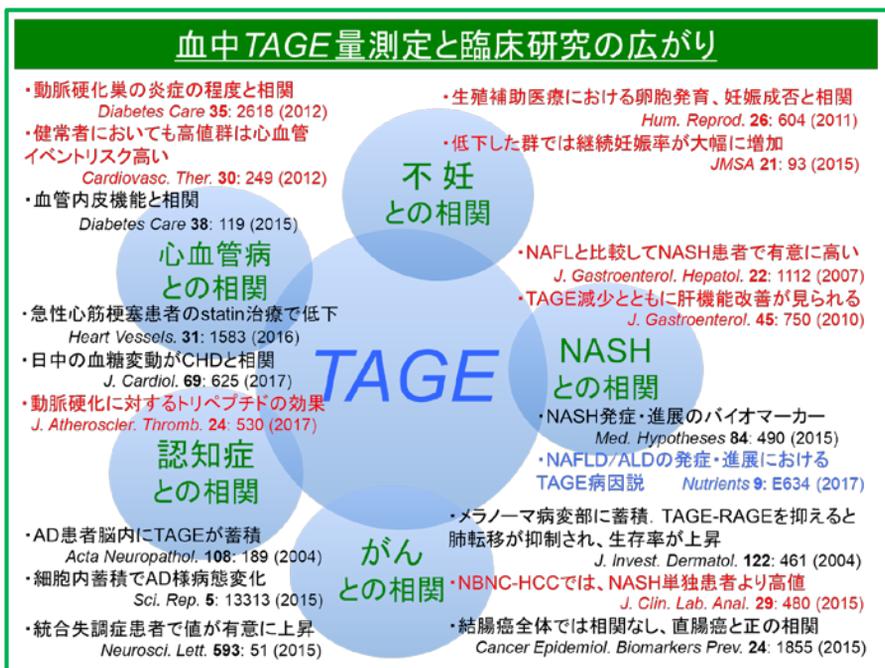
toxic AGEs

受託測定サービス

近年、加齢や糖尿病状態で促進的に生成される終末糖化産物 (advanced glycation end-products, AGEs), なかでも糖代謝中間体のグリセルアルデヒドに由来するAGEs (Glycer-AGEs, 後にtoxic AGEs (TAGE) と命名) がAGEs受容体 (receptor for AGEs, RAGE) を介し、糖尿病血管合併症の発症・進展に強く関わっていることが明らかになっています。

右図のように、血中TAGE量は心血管病、非アルコール性脂肪肝 (NASH), がん, 不妊症, アルツハイマー病などの多様な疾患と強く関連しており、研究の広がりが報告されています。

また、血中TAGEが生活習慣病の予防、早期診断、治療の有効性を評価する有用なバイオマーカーとしての可能性を秘めていることも提唱されています。



Diagnosics:2016他より作成

◆ AGEs測定受託 (研究用)

測定項目	Toxic AGEs (TAGE: glyceraldehyde-derived AGEs)
必要検体量	凍結保存したヒト血清 0.1 mL 以上
検体保管期間	測定終了後3か月間
測定方法	競合ELISA
測定費用 (税別)	¥8,000/1検体

*本サービスは臨床診断薬を用いた受託測定ではありません。研究用としてお役立てください。

サービスに関するお問い合わせ

TEL 096-375-5511

FAX 096-206-1787

Mail info@bloom-technology.co.jp